

「ひおき学（日置市の文化財調べ）」

1 学校名

日置市立伊集院中学校

2 学年・人数

2年生（計156人）

3 日時・場所

（1）学習会等の日時・場所

平成30年5月18日（金） 文化財めぐり（大汝牟遅神社、千本楠、吹上歴史民俗資料館、伊作亀丸城）

（2）発表の日時・場所

平成30年11月2日（金）文化祭 日置市立伊集院中学校

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

（1）名称・時代

- ・ 大汝牟遅神社（おこなむちじんじゃ）：発祥は正式には不明
- ・ 千本楠（せんぼんぐす）：推定600～900年の巨楠
- ・ 伊作亀丸城跡（いざくかめまるじょうあと）：南北朝時代（推測）以降
- ・ 吹上歴史民俗資料館（ふきあげれきしみんぞくしりょうかん）

（2）特徴

島津家と関連のある史跡や資料館である。大汝牟遅神社は島津忠良が加世田城を攻める際の戦勝祈願で流鏑馬を行った場所である。千本楠は樹齢600～900年の楠が集まっている場所であり、明治43年には博覧会にも出品されている。伊作亀丸城跡は伊作島津氏の本拠地であり、県内屈指の巨大な山城である。島津忠良や義弘、義久等の生誕の地でもある。吹上歴史民俗資料館は伊作島津氏関係の史料や伝統文化の資料等が保存されている。

5 保存会や地域との連携の具体

日置市観光ガイド協会に依頼をしたことにより、地域との連携を図ることができた。日置市観光ガイド協会が史跡の紹介から見学ルートの作成、ボランティアガイドの仲介をしていただいたことにより、その地域の歴史について、生徒自身が具体的かつ効率的に学習を行えた。また、大汝牟遅神社の宮司の方に島津氏の歴史と関連付けて神社の紹介をしていただき、流鏑馬など当時の武士道について学ぶ機会がもてた。

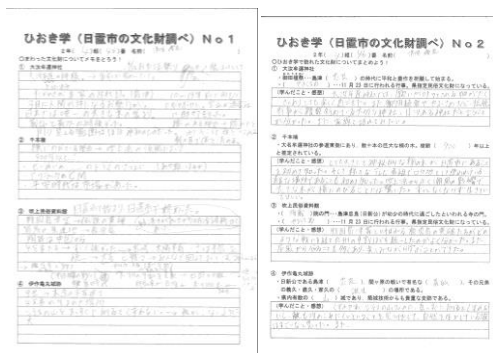
6 活用の取組の工夫した点

伊集院地域の妙円寺詣りと関連の深い島津義弘の発祥を学ぶために史跡巡りを行った。地域にゆかりのある史跡を巡ることで、郷土と生徒自身のとの関わり方を考えさせ、郷土の発展に貢献する態度の育成を図った。また、より効率的に学習ができるよう、各クラスで史跡を巡る順番をずらした。

日置市観光ガイド協会に協力を依頼し、ボランティアガイドや宮司の方、資料館の方に案内をしていただいた。そのことにより、ただ単に現地を訪れるだ

けではなく、有意義な学習を行うことができた。ボランティアガイドの案内のもと、史跡から当時の生活の様子や時代を想像したり、直接触れてみたりできたことで体験的学習につながり、生徒の記憶に残るものになった。また、社会の授業の中でも関連付けて学習を行ったことにより、定着を図ることができた。

7 取組の様子



【生徒がまとめたノート】



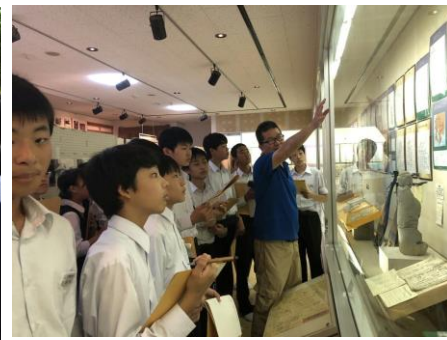
【文化祭展示の様子】



【大汝牟遅神社】



【千本楠】



【施設見学の様子】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

<生徒の感想>

○ 大汝牟遅神社

願いが叶うとされる物がたくさんあり、とても楽しく過ごせた。また御田植祭や流鏝馬など伝統行事が複数行われている誇りある神社ということが分かった。また家族と訪れたい。

○ 千本楠

とても大きくて神秘的な楠が日置市にあることを初めて知った。吹上浜から吹く潮風の影響で大きな木が横に伸びることには驚いた。ずっとなくならず生きていてほしい。

○ 伊作亀丸城跡

くずれやすいシラスの山であるのに、まっすぐ削ると崩れにくく、敵も攻め込みにくいということを学び、自然を生かしている山城はすごいと感じた。

○ 吹上歴史民俗資料館

戦国島津家と呼ばれる鹿児島島の英雄たちがどのような戦いを経て九州の9割を統一したのかよく分かった。また、屏風から分かることもあり楽しく学ぶことができた。日記など貴重な資料を多く見ることができよかった。